

支える会通信

No.91

調布を耕す会を支える会

事務局／〒182-0024 東京都調布市布田 3-20-1

TEL 042-486-1022 & FAX 042-486-0232

今回は会員であり、大好きな職員でもある川田さんが本を出されているという情報を聞きつけ、早々に川田さんに本の紹介をお願いしました。来年のオリンピック・パラリンピックが待ち遠しくなりますよ。

川田幸生、2019、「Q3 パラリンピックの方が数が多いものって何?」

pp.26-35.

坂上康博編著、2019、『12 の問いから始める オリンピック・パラリンピック研究』、かもがわ出版。

全体を通して

・読み終えた後に少しでも、テーマに関連して普段の生活の中で、オリンピック、パラリンピック、またスポーツについて考えて(研究)頂けると嬉しいです。

本書は12個のテーマから構成されております。みなさんの関心にあうテーマから読んでいただけると始めやすいかもしれません。

執筆したテーマに触れて

・テーマは「パラリンピックにまつわる数字」です。本書ではリオ大会のオリンピック、パラリンピックの数字を例として挙げました。


例えば、種目数はオリンピックとパラリンピックでは大きく違いがあります。その違いがどういった背景から生まれたか、競技数や種目数がどのように増えてきたのか(別な章でも触れられています)、数を通して少し歴史的な要素についても考える機会になるかもしれません。

具体的な数字は本書に任せますが、国内における障害者数とパラリンピック出場者数には大きな隔たりがあります。現在のパラリンピックへ出場している選手はごく一部です。スポーツ実施率においても大きな差があります。つまり、パラリンピック大会に参加する選手は一部のトップアスリートである可能性を示しています。トップアスリート以外の障害者のスポーツの環境はどうなって


いるのか? そんなことも考える契機に2020を捉えることもできるかもしれません。また、本書では触れられませんでした、各国によって障害の捉え方も違います。そもそも障害者って?ということも沢山の国の人々が集まる大会だからこそ考えるきっかけになるかもしれません。

オリンピック、パラリンピックの大きな理想はスポーツを通して社会をよりよくしていくことのようにです。2020 にその大きな理想が達成されるのか否か、みなさんで考えてみませんか??

ほう&れん&そう畑

<p><<お花見会の報告>> 3月30日 土曜日に野川公園でお花見が行われました。 参加者 25 人。みんなで楽しく語らいながらお花見を楽しみました。 朝の寒さでつぼんでいた蕾も午後には開いて最高のお花見になりました。 差し入れをして頂いた方、有難うございました。</p> 	<p><<来年度は役員の改選です>> 2019年度は役員改選となります。次年度の役員になっていただける方の立候補を受け付け中です。 受付は5月16日まで(事務局にご連絡ください。題字の下に記載されています)。</p> <p><< 役員会報告 >> 2019年3月30日しごと場大好きにて行われ、以下の議題について話されました。 *法人事務局から報告 *会計状況 2月までの収支報告 *役員改選について *総会の日程 *広報の内容</p>
--	--

☆ありがとうございます☆

<p><<会員名紹介>> 敬称略、順不同 2019年1月24日~4月5日に新規継続で会員になって頂いた方々です。ご協力に感謝致します。 2018年度新規継続会員 【正会員】寺島光子 【個人賛助会員】池田キミ子 【年末年始募金】 敬称略、順不同 赤久保友子 年末年始募金合計 335,000円</p>	<p>2019年度新規継続会員 【正会員】加藤春樹 安藤光子 安藤傑 前川典久 前川奈央 加藤修 加藤信子 【個人賛助会員】上野弘一 小林ケイコ 山口くるみ 菊田文代 丸山邦子 大菊健太 福岡真理 石丸尚子 前田由紀子 片岡ケイ子 小笹和子 【寄付】 敬称略、順不同 中込幸子</p> 
--	---